



自分で「見つける」「考える」「創造する」
そんな力を育みます。



SHIJONAWATE GAKUEN PRIMARY SCHOOL

Try it by themselves が大きな目標。

自分で見つける、自分で考える
そんな力を育みます。



**基礎学力は、やがて人間力になる。
パソコンスキル、
計算能力を鍛える、
読む力をつける。
確かな基礎を身につけます。**

基礎学力、それは子どもがまさしく人間として生きていくために必要な力です。小学校の6年間で子どもたちがきちんと身に付けておかなければならない基礎的な知識や技術を一人ひとりが習得できるよう、各教科の内容を精選し指導の充実に努めています。基礎学力を得る歩みは、それぞれの子どもによって違います。つまづきながらも一生懸命にがんばっている姿を見守り、寄り添っていきたくと考えています。

◎ プログラミング

低学年でPCの基本操作やプログラミングの基本を学びます。コンピューターを用いないプログラミング的思考育成から始まり、学年が進むにつれ絵を動かすビジュアルプログラミング、「指示」を並べるプログラミング学習へつながります。高学年は、身近にある機器にどう活かされているのかをロボットプログラミング学習を通じて学びます。こうして生活へ利用されている実情と、問題解決には手順があるという考え方を学び深めます。

◎ 反復練習・英語モジュール

計算の反復は数学的な勘を身に付ける手助けとなり、漢字を主とする読み書きの反復は、言語的思考力の向上を助けます。これらを通じて発展的な学びの基礎を養います。また、「モジュール学習」を行なっています。フォニックスを活用し、繰り返し練習しながら英語の4技能「読む・聞く・話す・書く」を身につけていくことをねらっています。

、自分で創造する。



1. 個性の尊重

個々の人が持つ異なる性格と特色ある才能とを尊重し、これを画一化することなく、それぞれの天賦の才能を探求し、発揮させます。

2. 明朗と自主

自分たちの未来を信じて、明るく朗らかで、何事にも自主的、積極的に取り組む人を育てます。

3. 実行から学べ

知識は実践を伴ってこそ価値があることを知り、「知って行い、行って知った」という過程を通じて学ぶ人を育てます。

4. 礼儀と品性

礼儀と礼節を重んじ、自らの教養を磨く、品性豊かな人を育てます。

◎ 辞書引き

学習指導要領では小学校3年生から国語辞典の引き方を学ぶことになっているのですが、本校では語彙力を増やすことを目的として、早い段階で辞書を導入します。まず独自の練習帳で大まかな辞書の引き方を学習した後、ゲームのようにどんどん辞書を引いていきます。

◎ 自由学習ノート

ほぼ毎日持って帰る宿題や課題のほかに、自由勉強を推奨しています。宿題が終わったあと、自由学習ノート(AB帳、自主学习など)を出して、足りない部分、興味のあること、日記、先生へのメッセージなどに取り組むように指導します。

◎ 統一テスト

子どもたちが自分の力を確かめ、学ぶ意欲を向上させることが狙いです。テスト結果は、習熟度に応じた個別指導などの貴重なデータとなります。

◎ そろばん

「そろばん」の授業を正課と課外授業に取り入れています。そろばんは計算能力を高め、暗算を速くする効果は知られていますが、最近の研究では脳の働きを活性化させる効果があることも、脳科学の分野で明らかにされています。

◎ 読書タイム

朝の10分間で読書好きになります。自ら選んだ本を読みます。静かな時間の後、落ち着いた雰囲気です。1限目が始まります。

◎ 習熟度に応じた個別指導

すべての子どもたちが「自ら学ぶ意欲を持つ人間」に成長することを願い、「お互いの個性や能力を認め合い、みんなが高まっていける学級作り」を目指しています。算数や国語の学習では、習熟スピードの個人差を考慮し、高学年から「習熟度別学習」という方法を組み入れています。

ひとつひとつの科目を深く専門的に。

英語を使う楽しみ、数学的な思考回路、コミュ



英語

学習を進めるうち、「意思疎通に必要なことと、まちがえても支障のないこと」の区別が、自然に体にしみこんでいきます。定期的な自己診断プログラムとモジュール学習を取り入れ、英語を使うことに抵抗のない子供を育成します。授業は次の三つのステップで組み立てています。



- 英会話教室
- ATR音韻知覚訓練
- オーストラリア生活体験旅行
- オーストラリア訪日団の受け入れ



目標 その 1

「そうか。英語はすべてわからなくてもいいんだ。分かるところだけを聞き取ったり読み取ったりして、わからないところは考えてつなぎあわせればいいんだ。」ということに気づかせるステップ。

目標 その 2

「聞き取れない部分は、いったいどんなことばなのだろう。それは、どんなはたらきがあるのだろう。うまく考えを伝えるには、どんな工夫をすればいいのだろう？」という興味や関心を子どもたちから引き出すステップ。

目標 その 3

「英語の世界にじぶんからとびこんでいこう。そして、実際にどんどん英語を使いながらレベルアップしていこう。」という、能動的なアクションを後押しするステップ。ジグソーパズルを完成するように、不完全な英語をより緻密な表現に近づけていく喜びを子どもたちが体験できるよう、私たちは学校行事をはじめとしたさまざまな場面に英語活用のチャンスを盛り込んでいます。

ニケーション力。深く専門性を養います。



科学

子どもたちは、予想、討論、実験のプロセスをくり返すうちに、自然の中にある大法則を発見したり、人類が長年工夫して作り上げた道具を発明します。大人にとっては当たり前に見えることでも、子どもたちには、自分で見つけた、人生ではじめて出会う本当の発明、発見です。さらにいえばそれは、暗記させられた言葉だけの法則ではなく、目の前の実験で裏付けされた法則なのです。四條畷学園小学校を巣立っていく子どもたちは、やがて何事においても「どうなるか、予想しよう。自由に意見を戦わせ、友達の意見に耳を傾けよう。事実によって決着をつけよう。」とする3つの姿勢を身につけます。この姿勢こそが「ものごとを科学的に考える」ということ、そのものなのです。われわれは、授業を通して、理科学的な知識を子どもに植え付けるだけでなく、科学的に物事を考える子どもになってほしい、と願っています。この授業を「理科」ではなく、「科学」とよんでいるのは、こういう理由によります。



社会

社会科は、多面的な観点から見る子どもを育てることをめざしています。子どもの興味関心を高め、社会的事象を自分ごととしてとらえるため、体験を通して楽しみながら知識を習得する教材を研究しています。また、習得した知識を活用する場として、判断を問うような課題を授業で行います。友達の意見を聞いたり、資料を深く読み取る中で、物事を多面的な観点から見ることを学び、それがより高次の社会的価値判断につながると考えています。自分の考えを持ちつつ他を受け入れながら、多面的に考えたり公平に判断できる大人に育ってほしいと願っています。



美術

本校の美術では子どもたち一人ひとりが、することを自分から計画し制作していきます。つまり教師が決めた領域や題材・材料で制作活動をクラス一斉におこなう美術ではなく、子どもたちが「することを自分で決める美術」なのです。そして子どもたちが作品づくりを楽しんでくれていることを私たちはつねに願っています。それと同時に子どもたちへ期待しているもの(美術の目標)があります。それは創造的な態度を身につけるということです。「することを自分で決める」「新しいことに自ら挑戦する」がそれにあたります。



音楽

音楽の原点は歌うことであり、“楽しく・美しく”歌うことの積み重ねによって感性が磨かれ、あらゆる音楽活動のための基盤が築かれると考えています。本校では、歌うことを中心とした活動を通じて、響きのある美しい歌声をめざしています。



国語

国語の時間は、単なる言語の学習にとどまらず、授業を通して、子どもたちが自分のことをより深く知り、表現し、さらには自分を取り巻く他の人々とつながる「学びの場」であるべきだと考えています。国語科は、他人との円滑なコミュニケーションを通じて自分を改めて見つめ直す、そんな内省的な態度を持った人間づくりをめざしています。



算数

我々は子供たちが思わずのめり込んでしまうような、様々なゲームや教具を開発、改良しています。考案したゲームは、授業はもちろん、休み時間の遊び道具にまで幅広く校内で利用されています。ゲームに熱中することで、知らないうちに算数活動を数多く体験し、主体的に算数課題に取り組む態度を育もうとしています。



力を合わせた、夢中になった、競った・・・

かけがえのない学園生活。



やってみたい から始まる学び、 活動科。

4年生以上の児童を対象に、「活動」の時間を設けています。「活動」は4つの分野に分かれています。劇などの「身体表現」分野、工作などの「造形」分野、球技などの「スポーツ」分野、そして基礎的学習をさらに深めていく「学び」の分野。そのうち、「身体表現」「造形」「スポーツ」の分野では、子どもたちが自分でやりたいことを選ぶ自由選択制をとっています。自分で選ぶからやる気が出る。自分で選んだのだから責任を持つ。自分の力で、やりとげたから深く感動できる。子どもたちにそんな体験をさせることが、大きなねらいです。同じ目的を持った子どもどうしが集まり、知恵を出し合い励まし合うことによって、自然に協調性と技能が身にそなわっていきます。

Activity

1

「身体表現」分野

頭と体をフルに使って、表現することの楽しさに気づきます。人形劇やビデオドラマ作り、舞台劇、リズムダンスといった様々なジャンルから、やってみたいものを選択します。活動の締めくくりは、6年生の発表会です。



Activity

2

「造形」分野

箸削り、竹とんぼ、飯ごう炊さんにお菓子作り。米作りやサツマイモの栽培も、この分野に入ります。今まで完成品しか知らなかったものを、自ら作ることに挑戦します。できあがり想像しながら手先を使い、工夫を重ねていきます。



Activity

3

「スポーツ」分野

サッカー、バスケットボール、野球や卓球などのボールゲームから、好きなものを選択します。ゲームを通して友達との協調性やフェアプレイの精神を身につけていきます。生涯を通じてスポーツに親しむ人間作りが、われわれの目標です。



Activity

4

「学び」分野

コンピューター授業・英語・習熟度に応じた個別学習を行います。難易度の違う教材を用いて、着実に一人ひとりのレベルを高めていきます。90分という余裕のある時間枠をたっぷり使って、じっくり課題に取り組むことを狙っています。



自由に 選べる 学び。

[ENJOY活動]



それぞれ3～6年の学年で、A活動(身体表現)やB活動(制作)・C活動(スポーツ)・G活動(プログラミングや英語など)という学習活動を行っています。そこに、この4学年を異学年集団として一緒に行うクラブ活動を新たに加え、始めました。名称も、子どもたちが夢中になって、多いに学び楽しんでほしいという願いから、『ENJOY活動』と名付けました。

このENJOY活動には、運動系(テニス・野球・バスケット・卓球)や、文化系(百人一首・マジック・作家・囲碁・グリコード・マネーゲーム・手芸・絵画・討論・自主研究)等、様々なクラブがあります。子どもたちが興味関心のあるクラブを選択し、挑戦できますので、友達と一緒に楽しく、この活動に取り組んでいます。



複数の先生から専門的に学べる。視点が広がる、
学びに多様性が出る、新しい発見がある。

教科別専科制のメリットです。

教科担任制と複数担任制を導入

科学、音楽、美術、英語、書道、体育、コンピューターの授業では、より分かりやすく、より専門的な授業が行えるよう、教科別に専科制を導入しています。クラス担任だけでなく、全職員が学年をこえて、子どもたちを見守り、柔軟な指導に当たります。また、教科によってチームティーチング制を採用し、一人ひとりの学習進度にあった学習指導を行っています。

国語 社会 算数 生活 道徳

クラス担任

英語	英語専科・ネイティブによるチームティーチング。
科学	4～6年は科学専科が担当。
音楽	2名の音楽専科が、全学年を担当。
書道	書道専科が担当。
美術	1～3年はクラス担任、4～6年は美術専科が担当。
体育	全学年を専科とクラス担任が担当。水泳は水泳専科と担任が担当。
コンピューター	4～6年は活動の先生が担当。

放課後教室

(預かりと学びの両立)

学校内で習い事ができるから安心。
趣味に勉強に、好きな事をどんどん伸ばす。

学校内の施設を有効に使う「放課後教室」。

ご家庭によるさまざまな事情、保護者の方のライフスタイルや、お子さまの興味に合わせて、好きなもの、挑戦したいものを選べます。



01

音楽教室

四條畷学園音楽教室では、他の音楽教室には見られない多彩なコースときめ細やかな教育システムを導入しています。“歌声を通して”「音を聴きとる力」と「楽譜を読む力」の育成に重点が置かれています。教員は大学で音楽専門教育を受け、学園短大の指導にもあたっている演奏家です。

総合コース

- ピアノ
幼稚園児からピアノは全て個人レッスン。経験豊かな教授陣が進度に応じて系統立てて指導します。
- ソルフェージュ
習熟度別クラス編成と歌声を中心とした授業スタイルで、楽譜を読みそれを音にする力と、音を聴きとる力を確実に身につけます。

選択楽器

- 声楽 ●ヴァイオリン ●トランペット ●マリンバ ●打楽器
- 総合コース以外に上記の専攻科目が開講されています。
(小学4年～、全て個人レッスン) ※ヴァイオリンは、小学1年より選択可能。



02

少年少女合唱団

四條畷学園創立80周年に、ザ・シンフォニーホールにおいてウィーン少年合唱団と合同演奏会を開催しました。創立90周年にはいずみホールにて記念演奏会を開催しました。



03

マリンバ・パーカッション教室

木琴や鉄琴、大太鼓、小太鼓、ボンゴ、タンブリン、マラカスなど、たくさんある打楽器を使ってリズムを合わせたり、有名な曲に挑戦したりして、お友達とアンサンブルを楽しみます。



04

水泳教室

温水プールを利用し、一年を通じて専任指導者にトレーニングを受けます。能力別に細かくグループ分けし、レベルにあった指導を受けることができます。



05

体操教室

子どもが自分自身で目標を設定したり、ゲーム形式の運動を子ども同士で進行していけるように行っています。



06

書道教室

日本の伝統文化である書の世界を体験します。基礎的な書写から、さらにいろいろな教材を使った書道の学習を取り入れています。



07

英語発音訓練教室(ATR)

学研都市にあるATR(国際電気通信基礎技術研究所)とタイアップ、独自に開発されたソフトを用いて1年間にわたり英語の聞き取りや発音訓練を受けます。発音のコツが分かり、文法や意味の理解力が高まります。



08

英会話教室

ネイティブとのアクティビティやコミュニケーションを中心とした教室です。耳からの吸収力がとにかく高い、1・2年生を対象としています。



09

囲碁教室

基本的なきまりを知ったあと、どんでんゲームを重ねていきます。楽しみながら右脳をきたえます。



10

そろばん教室

日本古来より親しまれてきたそろばんは、数の仕組みを理解し、計算力向上に役立ちます。右脳の発達や集中力向上にもつながります。



11

漢字教室

国語の基礎学力アップを目的に、漢字や文章表現を学びます。漢検DSも導入した楽しい勉強法で、確かな成果をあげています。また、漢字検定の受検を奨励しています。



12

算数国語教室(塾)

算数と国語の基礎から応用力までを身につけ、学力アップを目指します。3年~6年の希望者を対象に、1日2教科(算・国)で各45分を行います。また、国際算数検定・日本語文章能力検定の受検を奨励しています。



13

伝統文化こども教室(華道・茶道)

華道・茶道を身近に感じ、日本文化に対して興味をもつことをねらいにしています。また、美しい日本の行儀作法も同時に学ぶことができます。



14

科学教室(ロボット教室)

子どもたちの純粋な好奇心を入り口として、ロボット作成を通じ「自分で考え、自分で成し遂げる力」を身につけていきます。



15

スポーツチャンバラ教室

自由に神社の境内や野山を駆け回って遊んだ「チャンバラごっこ」を新しい安全な用具を開発し、体育館で行う現代的なチャンバラごっこを「スポーツ」の土俵に引っ張り上げました。



16

ストリートダンス教室

「ダンス」は、年齢・性別を問わない、手軽で安全に楽しめる運動として、社会的な認知を受け始めるとともに、中学校で必修科目とされ、生涯スポーツの一つとして大きな役割が期待されているところです。



一生の宝物を育む時間 体験学習

学校内の学習時間や課外活動と同じように、私達が大切に位置づけているのが学外での行事です。田舎生活を体験するカントリーステイ、修学旅行や自然学校、臨海学校、オーストラリアへの生活体験旅行…。素晴らしく充実したさまざまな体験は、子どもたちの好奇心を育て、五感を豊かにし、仲間と共に何かをやり遂げる得難い充実と達成を感じさせることでしよう。大人になって、ふと小学校時代を振り返ったときに、あの体験が「何者にもかえがたい宝物」だったと感じられるような時間を。そんな機会を子どもたちに与えてあげるのが体験学習です。

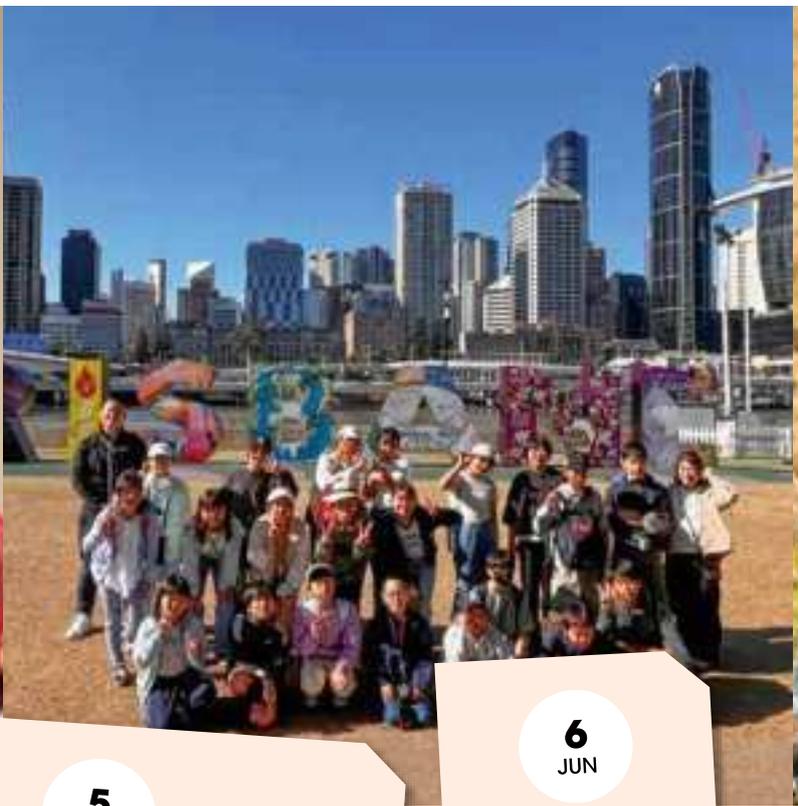
年間
SCF





4
APR

- 入学式
みんなで新しい
1年生をお祝い
- 新入生歓迎遠足
1年生と手をつないで、みんな
で飯盛山登山



5
MAY

- 春の遠足 (1~3年生)
登山や緑地遊び
- 修学旅行 (6年生)
広島・愛媛方面へ
平和学習、歴史学習 (2泊3日)
本物を自らの眼で見る
- カントリースティ
(5年生)
恵まれた環境の中で営まれる農
村漁村の暮らしを通して感性を磨
き、思いやりの心を培う (2泊3日)

VOICE

カントリースティ感想

一番楽しかった体験は、森林間伐です。木を切ることも、のこぎりを使うことも初めてだったので、どきどきしました。この人生で「やろう!」と思ってもできなさそうな体験だと思ったから選びました。木を切るのは思っていたよりもむずかしかったです。一本の木を倒すのにとても時間がかかりました。

5年生Aさん

6
JUN

- 自然学校 (3・4年生)
縦割班活動
・水上体験
・プロジェクトアドベンチャー
(PA) を体験 (2泊3日)

VOICE

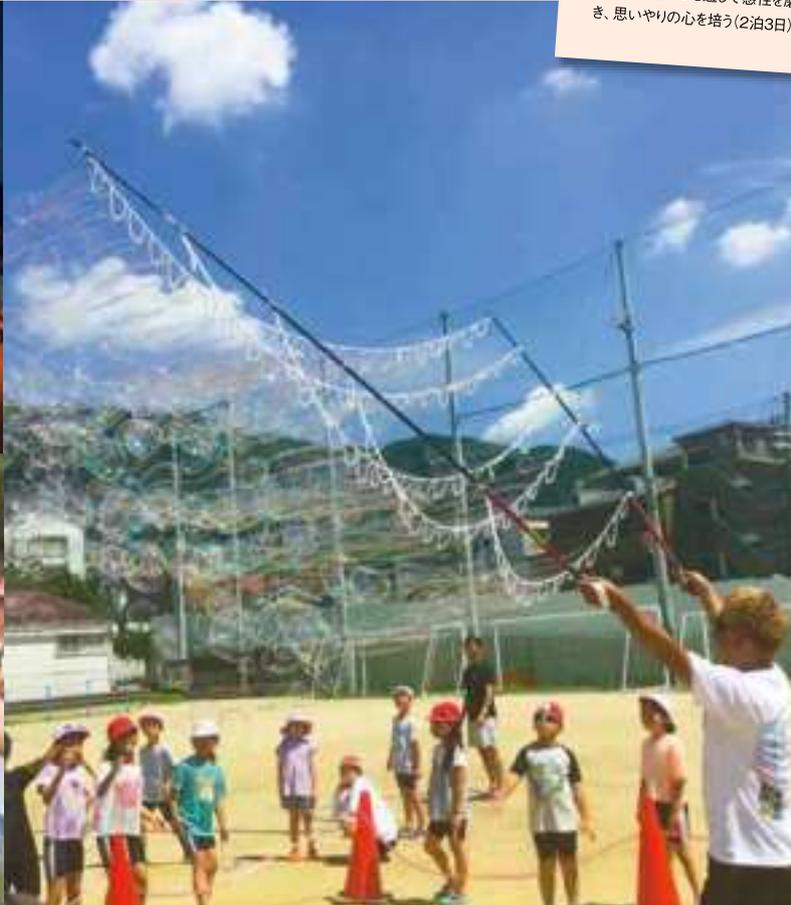
自然学校感想

みんなと声をかけあっていくと、どこか失敗しているのかかか分かったので、そこもよかったし、みんなで作るのはとても楽しいな—と思いました。(冒険いかだチャレンジを振り返って)

4年生Bさん



EDULE





7
JUL

- 7月統一確認テスト
- 臨海学校（6年生）
海浜での共同生活
海で泳ぐことと機遊び体験
（2泊3日）
- フレンドキャンプ

8
AUG

- オーストラリア生活
体験旅行（5・6年生希望者）
外国の文化を理解し、言語を習
得するために実施しています



9
SEP

- ハーベustosテイ
（5年生）
農家の方々と再会（カントリース
テイ）活動の中心は、稲刈りと民
泊活動
- 体育会
心から楽しむ体育会が基本

10
OCT

- 10月成績面談
担任との成績面談
- 秋の遠足（1～6年生）
紅葉の季節を楽しむ
- 秋まつり
収穫までの苦勞と喜び



11
NOV

- 芸術観賞会
体育館が素晴らしい劇場に変身
- 模型飛行機会
自作の模型飛行機を飛ばす
- 音楽会参観

VOIC

音楽会参観 感想
涙あり笑いあり、今までに観に
行ったどんなコンサートよりも毎
年感動させてもらっています。学園
ならではの音楽会は、他校にない、
とても有意義で魅力のある取
組みです。

保護者

- HEART GLOBAL
（4・5年生）
音楽を通して「新しいチャレンジ
の一步」「人とのつながり」を学
びます





12
DEC

● 12月統一確認テスト

● かけあし訓練

寒さに負けないように
毎日走る

● にここご遠足

縦割りグループ(にこここ班)で
遠足

1
JAN

● 美術展

1年間に制作した作品の中から、
代表作を選んで展示



2
FEB

● 表現活動発表会

身体表現の発表会
(児童向け)

● 球技大会

児童会主催。6年生との最後の
全校行事

● スキー教室(6年生)

スキーの練習と雪山の生活
(2泊3日)

3
MAR

● 3月成績面談
担任との成績面談

● 卒業お祝い会

● 卒業式

卒業生は、夢や思い出を語り、
在校生や先生は歌で卒業生を
送る

● 修了式

1年の総まとめ



思い出つくる。。

充実した6年間、
日々成長してゆく子どもたち。

(一日の流れ)



1 限目
(08:55~09:40)

2 限目
(09:50~10:35)

3 限目
(10:50~11:35)

4 限目
(11:45~12:30)

08:40

08:55

09:50

10:50

11:45

12:30

読書タイム/朝の会
(08:40~08:55)



読書タイム

毎朝恒例の10分間で読書好きになる習慣。静かで落ち着いた雰囲気です。1限目が始まります。



昼休み
(12:30~13:15)

お弁当・給食・食堂・パン屋から昼食が選べます。

児童たちの昼食は、ご自宅からのお弁当持参が基本となりますが、希望者は給食弁当が利用できます。2年生からはパン売場が利用でき、3年生からは校内の食堂も利用できます。



◀ Formal

ネイビーのブレザー(男女共)とチェックのズボン、スカートが基本スタイル。

Informal ▶

ベスト、セーター、カーディガン、ポロシャツ、ワンピースなど、バリエーション豊富に選べます。



制服

UNITED COLORS OF BENETTON.

イタリア・アパレルメーカー「ベネトン」デザインの制服を関西で初めて採用しました。ブレザースタイルを基本に、個性や、季節に合わせて、いろいろなコーディネートが楽しめます。



制服に合わせてデザインされた、本校の通学カバンです。リュックスタイル、ショルダースタイル、手提げスタイルと、学年や用途に合わせて使い分けができます。

選べる昼食

食堂

その季節に合わせて毎日変化をつけています。



- Aランチ 500円
- Bランチ 450円
- きつねうどん・そば 280円
- カレーうどん・そば 280円
- ラーメン 280円
- からあげ丼 450円
- とろとろオムライス 430円
- カレーライス 380円
- チャーハン 230円

パン屋



13:15

掃除
(13:15~13:30)

13:30

**反復練習・
英語モジュール/終礼**
(13:30~14:00)

14:10

低学年

5 限目
(14:10~14:55)

高学年

E活動(木)
(14:10~14:55)

★課外授業

英会話教室、そろばん、
水泳、音楽等
(P10～P11参照)

15:40

高学年

活動(月火金)
(14:10~15:40)

5 限・6 限
(14:10~15:40)

下校時間

<5月～9月> <10月～4月> <土曜日>
16:20 16:00 12:30



放課後教室

放課後に学校全体の施設を有効に使って、さまざまな「教室」を開講しています。一人一人違う子どもに適したものを選択できます。子どもが、自分の「好きなこと」に打ち込み、可能性を發揮するチャンスです。



放課後クラブ (お預かり教室)

放課後クラブは、保護者が安心して仕事ができるように、放課後や夏休み(一部)・冬休み(一部)の期間など子どもたちをお預かりいたします。ご利用は月極制とチケット制があります。

実施日 月曜日～金曜日 18時まで

進路への豊かな選択肢がある。

総合学園だから 実現できる 万全の進学サポート。

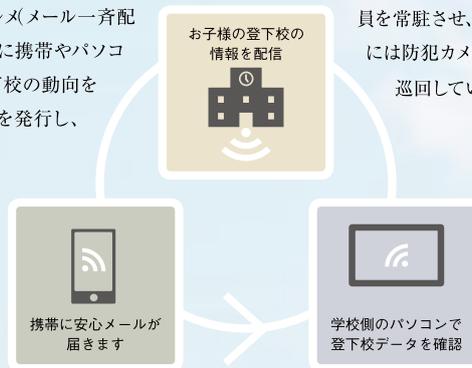


安全への配慮も万全の体制で。

駅前1分の立地に ICタグや警備員配置など 安心の環境と体制を整えています。

ICタグによる 登下校情報配信サービス

全家庭(全児童)に、ICタグによる登下校情報配信サービスを行っております。ランドセルにICタグを取付けるだけで「ミマモルメ(メール一斉配信システム)」を通じて、お子様の登下校情報を即時に携帯やパソコンに通知する仕組みです。同時に、職員室でも登下校の動向を把握できるようになります。各家庭には入校許可証を発行し、入校許可証がない場合、入校をお断りしています。



守衛さんが常駐しているので 毎日の登下校が安心です。

児童の安全確保及び学校の安全管理を一層強化するために、校門には警備員を常駐させ、テレビドアフォン・オートロックを設置しています。校内には防犯カメラ、非常ベルを設置し、定期的に警備員が巡回しています。

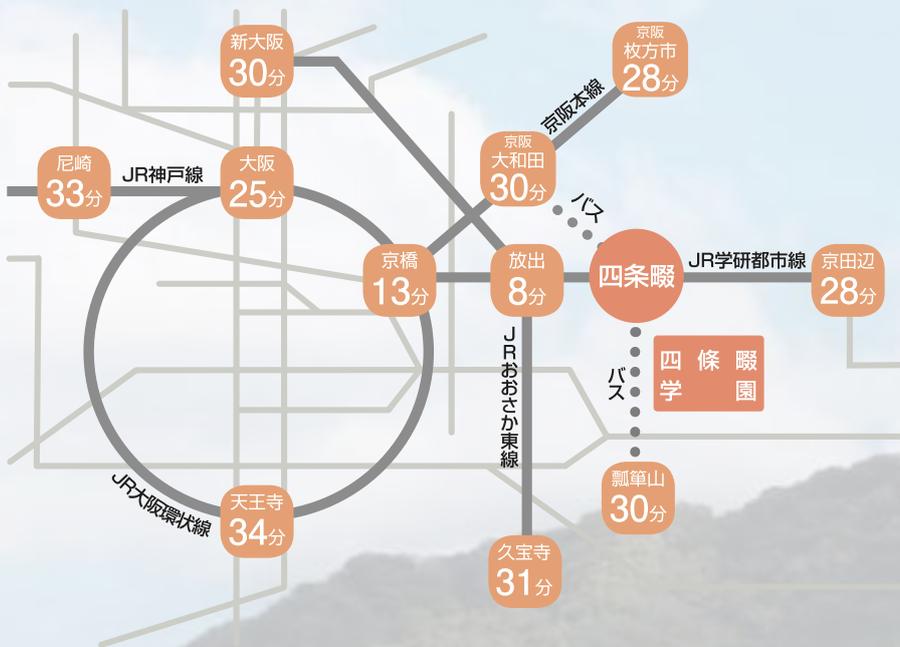


バスを降りるとすぐに学園。
便利で安全な通学環境です。

四條畷学園はJRの四條畷駅にある便利さに加えて、バスでの通学にもとても便利です。特に朝は小学校の目がバス停だったり、帰りも徒歩1分先にバス停があるなど、先生や守衛さんの目が届く学校近隣周辺にたくさんのバスの乗り降りができる場所があります。また総合学園なので、登下校時には生徒や園児、先生などが往来し、とても楽しい雰囲気になります。

四條畷駅より徒歩1分、
JR京橋駅より13分

本校はJR学研都市線「四條畷」駅のすぐそば。「京橋」駅から13分と、大阪市内をはじめ各方面からの通学にたいへん便利で、しかも静かで落ち着いた環境に恵まれています。京阪本線や近鉄奈良線沿線からのアクセスもスムーズ、京都南部地方や奈良も通学圏です。



通学エリア 各市・区からの通学者数(人)

大東市	148	城東区	20	淀川区	2
東大阪市	116	鶴見区	13	此花区	1
四條畷市	84	生野区	11	中央区	1
門真市	39	旭区	7	大阪市合計	85
寝屋川市	25	西淀川区	6		
交野市	21	天王寺区	6		
枚方市	17	都島区	5		
守口市	12	北区	5	隣接他府県	
八尾市	9	東成区	3	兵庫県	10
茨木市	2	福島区	3	京都府	7
高槻市	1	平野区	2	奈良県	3



すべての軸にある建学の精神。

「報恩感謝」の精神は 環境に、体制に、伝統に行事のなかにも 息づいています。

四條畷学園は、牧田宗太郎先生とそのご兄弟が、自分たちを立派に育て上げてくれた亡き母に対する報恩感謝の念をあらわそうと創設されました。

その母栄子さんは日本女性の鑑とも言える方で、幕末改革期の悲運によって収入も途絶えがちになってきた牧田家を自ら働くことによって支えられました。しかもその時代背景からすれば、まさに先見の明ともいえるほどの教育への不屈な信念によって、宗太郎先生はじめ7人のわが子が教養を得るためには労苦を惜しまなかった、という話が今でも語り継がれています。

この母の偉大さに感謝しておられた宗太郎先生(当時四條畷中学校校長)と環先生(当時三井重役・工学博士)のご兄弟が、その御恩にどのような形で報いるのが最上の道であるのかと熟慮されました。

そして『"子供たちを本当に立派な人として育てることのできる力"を身に備えた女性を社会に送り出すこと。』、これこそ亡き母上のもっともお喜びになられることであろうと思われ、女子教育に尽力される決意を固められました。

そして、ちょうど四條畷神社に摂社御妣神社(祭神大楠公夫人)が建設された折、この四條畷の地に学園創設の奉仕事業が始められるに至りました。



創立者 牧田宗太郎



創立者 牧田環



将来の担い手を育てるために。

「人間力」を育む。

そのために目指すのは

バランスのとれた継続的教育です。

教育は、とりもなおさず人間として持っていなければならない大切なもの、「人間力」を鍛え上げるところに真の目的があります。これは、「知を探究する力・健やかな体・健全な精神」の、バランスのとれた育成と、たゆまざる陶冶によってのみ可能であり、特に年少期においては、どれに偏っても、その後の発達や成長に少なからぬ負の影響を与えてしまいます。

子どもたちを、将来の担い手として豊かに生きてゆける「人間力」に富んだおとなに育て上げるため、われわれはバランスのとれた継続的教育を肝に銘じています。そして、それを土台にして次の4点を基本方針とし、自主性、社会性育成に主眼をおいた教育内容を構成しております。

●一つめは、「個性の尊重」です。

一人ひとり違う子どもの個性を生かすため、「自分で選び責任を持つ」機会を学習の随所に取り入れています。

●二つめは、「明朗と自主」です。

自律心を養うため、子どもたち自らが考えを持つことに力を入れています。そして、子どもどうしお互いの考えを照らし合わせ、他者の発案を大事にしながら考えを深めていく指導を常に意識しています。

●三つめは、「実行から学ぶ」学習形態です。

「知って行う」、あるいは「行って知る」といった経験を通じた知識こそが、子どもの生きていく力となりえます。教室を出て、五感を働かせる学習を全学年に取り入れ、子どもたちの学習の足場を確固としたものにする取り組みを随所に取り入れています。

●四つめは、「礼儀と品性」の錬磨です。

正しい行いというものの概念を構築し、自分のなすべきことをそれに照らし合わせて行動することができるように導きます。子どもたちはまず上級生や大人の行動をまねることからはじめ、学年が上がるにしたがい、自分の行動を省み、自らを律することができる強い心を練り上げていきます。

日常的に行われるこういった実践の成果は、一朝一夕に発現されるものではありません。けれども、われわれのこういった小さな、けれども着実な教育は、子どもたちが大人になった時に大きな実を結ぶに違いないと確信しております。





生涯を通じた相談相手

人生の節目には、相談相手でありたい。
小学校卒業後も、スタッフは子供たちを見守り続けます。
喜びを分かち合いたい時、人生の岐路に立った時、
卒業生の多くは再び小学校の門をくぐります。
我々スタッフは、こういった子どもたちとの
生涯を通じた交流を無上の喜びと感じています。



四條畷学園小学校

併設校 保育園・附属幼稚園・中学校・高等学校・短期大学・大学

〒574-0001 大阪府大東市学園町6番45号
TEL : 072-876-8585 FAX : 072-876-8822
E-mail info@ps.shijonawate-gakuen.ac.jp
ホームページ <https://ps.shijonawate-gakuen.ac.jp/>



四條畷学園保育園



四條畷学園大学附属幼稚園



四條畷学園中学校



四條畷学園高等学校



四條畷学園短期大学



四條畷学園大学